

第12回ビジネス講座

「AR／VRを活用した周遊促進」

～アーカイブ・情報資産化と、地方創生・観光立国へ向けた利活用と共創～

概要

日 時 : 平成30年12月6日(木) 15:00~17:00

会 場 : 横浜第2合同庁舎 1階第2共用会議室

講 師 : 凸版印刷株式会社 情報コミュニケーション事業本部

ソーシャルイノベーションセンター

先端表現技術開発本部 VRビジネス開発部

課長 高橋 隼人 氏

シニアクリエイター 内山 優 氏

参加者 : 52名



【セミナー概要】

関東運輸局交通政策部では、2017年10月より「関東運輸局ビジネス講座」と銘打ち、公共交通・物流・バリアフリー等を主なテーマに外部より講師を招いた公開講座を開催しています。

通算12回目となる今回は、12月6日(木)に「AR／VRを活用した周遊促進」～アーカイブ・情報資産化と、地方創生・観光立国へ向けた利活用と共創～と題し、凸版印刷株式会社 情報コミュニケーション事業本部 課長 高橋 隼人 氏及びシニアクリエイター 内山 優 氏にご講演いただきました。

凸版印刷株式会社は、文化財のデジタル保存に取り組み、それをVRコンテンツ等で可視化、体験出来るようにする等、多くの実績をお持ちです。

当日は、自治体職員、様々な業種の事業者等、52名の方が来場され、大変活気のあるセミナーとなりました。

講演では、フルハイビジョンと4K、8Kの違いや、現在どういったことにAR／VRを利用しているか、また、今後の開発によりどういった方向に利用できるか、などについてご講義いただくとともに、全国での取り組み事例等を数多くご紹介いただきました。

また、今回は4Kテレビでの映像の視聴とVRの体験コーナーを開設していただき、4Kテレビでは自然や水の流れ、食材や料理等の迫力ある高精細映像を見ることで、視覚情報がどれだけ実感や体感性に影響があるか身をもって体験できました。VRの体験コーナーでは、視覚を覆う簡易的なゴーグルにスマートフォンをセットすることで臨場感を体感することができ、また、タブレットを利用し、日常では中々立ち入ることのできない遺跡の奥に徐々に入っていくような映像体験をさせていただきました。参加者は、講師に質問をしながら体験コーナーを楽しんでおり、大変盛況な講座となりました。

今回の講演では、ARやVR等のデジタルコンテンツの利用事例とその効果等をご紹介いただき、参加者にとって、今後の地域創生や観光振興の手法の一つとして参考になったのではないかと思います。

【参加者感想】

- ・ AR、VRの違い、実生活への役立て方の理解が深まりました。
- ・ 非常に分かりやすく、自分が担う業務の未来のイメージが少し持てました。
- ・ 最先端な技術を観光にどう活用していくか、今後の事業検討の際に生かして行きたいと考えます。
- ・ AR、VRで観光誘客へ繋がるようなものの作成が出来たら良いと感じました。情報社会の中でどんどん新しい技術が開発され、それをどのように上手に利用していくかが必要だと思いました。とても有意義な講義でした。
- ・ 新しい技術など今後利用していけそう、していきたいプログラムでした。アーカイブとして映像を活用してみたいと思うし、本と映像がリンクしていくなど、なるほどと思った。
- ・ 今回はAR、VRを活用した周遊促進ということで、観光事業へどう活用できるのか勉強になりました。文化財や観光施設などへ活用していけるようになると、観光も新しい感覚が生まれるのではと思いました。
- ・ 先端のものを開発している方々のエネルギーは、自治体職員にとっても必要不可欠だと思います。協力して色々やっていきたいです。

